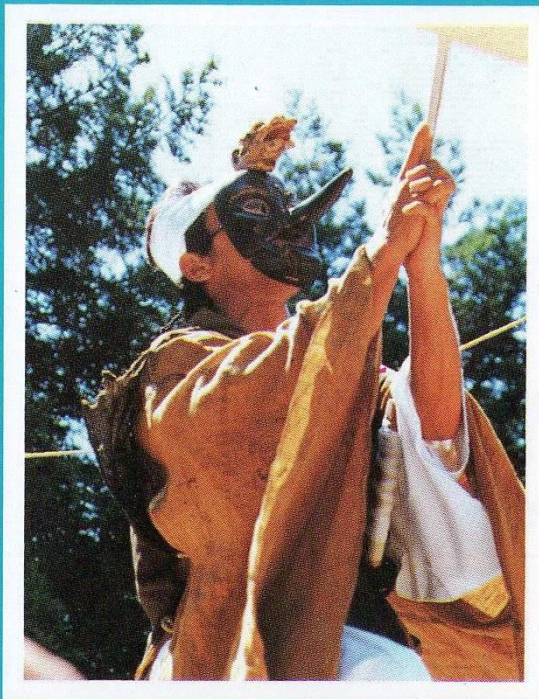


平田町民俗 芸能資料展

一階 城輪柵跡展



県指定無形民俗文化財 新山延年の舞

- 開催期間 1984年9月5日～10月28日
- 開館時間 9時30分～16時30分
- 休館日 月曜日・祝日
- 入館料 大人100円・児童生徒50円

酒田市立資料館

酒田丁一番町8-16 TEL (0234) 24-6544

開催にあたって

民俗芸能は、われわれの祖先が遺してくれた大切な文化遺産であります。

このたび、平田町合併30周年・町制20周年を記念し、各民俗芸能保存会ならびに平田町教育委員会の熱意ある御協力により、平田町に受け継がれてきた極めて貴重な民俗芸能文化財を一堂に集めて公開していただきましたことに厚く御礼を申し上げる次第であります。

展示目録

■新山延年の舞———県指定無形民俗文化財

新山神社

例祭日— 8月19日

展示内容	点数	展示内容	点数
1. 羅陵王仮面	1	9. 刀	4
2. 龍頭	4	10. 花笠	4
3. 貫頭衣	1	11. 摺金	1
4. 鳥兜	2	12. 太鼓	1
5. 鉾	1	13. 笛	1
6. 狩衣	4	14. 獅子頭	1
7. 鳥帽子	4	15. 写真	3
8. 天狗面	1		

■飛鳥の湯立神楽———町指定無形民俗文化財

飛鳥神社

例祭日— 4月27日

展示内容	点数	展示内容	点数
16. 太鼓	1	24. 三合舞衣装・柄襦	1
17. 巫女舞	1	25. 重箱と餅	2
18. 笹束	1	26. 鳥居舞用鳥居	4
19. 笛	1	27. 獅子頭	1
20. 弓舞衣装	1	28. 刀	
21. 弓と矢	2	29. 例祭時やっこ振用具	1
22. 仮面	6	30. 例祭時獅子舞用具	1
23. 幣束	6	31. 松例祭用つつが虫	1



飛鳥の湯立神楽

鹿島の獅子踊

町指定無形民俗文化財

鹿島神社

例祭日— 8月15日

展 示 内 容	点数	展 示 内 容	点数
33. 獅 子 頭	6	39. 腰 花	6
34. 獅 子 幕	6	40. 太 鼓 (小)	6
35. 前 掛	6	41. 太 鼓 (大)	1
36. 腰 な た	6	42. 綾 笠	1
37. 平 袖	6	43. 写 真	2
38. 股 引	6		

坂本の獅子踊

町指定無形民俗文化財

貫船神社

例祭日— 8月13日

展 示 内 容	点数	展 示 内 容	点数
44. 高張提灯	1	52. 袴	1
45. 獅 子 頭	5	53. 太 鼓	1
46. 獅 子 幕	5	54. かしの棒	1
47. 前 掛	5	55. 刀	1
48. 腰 た な	5	56. たすき、鉢巻	1
49. 平 袖	5	57. 手 甲	1
50. 股 引	5	58. 写 真	2
51. 綾 笠	1		

■桜林の獅子踊

町指定無形民俗文化財

山神神社

例祭日— 8月17日

展示内容	点数	展示内容	点数
59. 弓	1	65. 股引	6
60. 獅子頭	6	66. 腰飾	6
61. 獅子幕	6	67. 綾笠	1
62. 前掛	6	68. 太鼓	1
63. 腰当	6	69. 鳴環	6
64. 平袖	6	70. 写真	2

■檜橋の神代神楽

町指定無形民俗文化財

薬師神社

例祭日— 9月7日

展示内容	点数	展示内容	点数
71. 幕	1	75. 太鼓	1
72. 龍(ぬいぐるみ)	1	76. 笛	2
73. 仮面(面(各種))	16	77. 写真	4
74. 衣装(各種)	10		

■獅子舞の獅子頭

神社名	例祭日	展示内容	点数
78. 山神神社	8月13日	小林の獅子頭	1
79. 薬師神社	9月8日	元田沢の獅子頭	1
80. 三上神社	8月17日	本宮の獅子頭	1
81. 皇太神社	4月24日	山谷の獅子頭	1
82. 小物忌神社	8月17日	三之宮の獅子頭	1
83. 日枝諏訪神社	9月5日	砂越の獅子頭	1

◆新山延年の舞

この舞の伝承経路や年代については度たびの火災などで記録が失われているので不明ですが、中央のケースに展示している青銅製の羅陵王仮面や舞台の四隅に飾られる木彫の龍頭等が鎌倉時代の作といわれているので、この舞もその頃から舞い継がれたものと思われます。

往古はこの地にあった新光山最勝寺で行われた舞楽であり、新山九坊の修験が伝承したものであるが、明治3年に新山神社になってからは毎年、神社の例祭（8月19日）に舞われてきています。

この舞は次の九舞曲で構成され、太鼓・胴拍子・笛（7孔）のリズムに合わせて舞います。

- 1.先鋒舞
- 2.稚児舞
- 3.オッコ舞
- 4.クシャ舞
- 5.太平楽
- 6.天狗面舞
- 7.花笠舞
- 8.翁舞
- 9.御獅子舞

この舞は単調で繰返しが多いが、中世的な枯淡な味と香りを残しており、ここにだけある貴重な舞曲もあり、長く後世に伝えたい。

新山では全戸加入で保存会を組織し、この舞を伝承するため15人の若者で白鳥の会を結成して練習を積み完全に習得した模様で昭和59年から全舞曲を演ずることになりました。

◆飛鳥湯立神楽

飛鳥神社は社記によると、奈良時代に大和国高市郡（現奈良県明日香村）の飛鳥神社から勧請創立されたもので、集落の名もここからでたと言われています。

大同2年（807年）社殿を再建したとされているが、その後朝廷が勅して諸国に本尊仏を安置させた時、庄内では羽黒・高寺・飛鳥に祀ったとあり、飛鳥には十一面観音を安置したと誌されています。その頃から飛鳥山観音寺と称し、俗に飛鳥の大権現と呼ばれて今に至っています。

大権現は何度も火災にあっている所以古い記録は殆んど失われ、従って湯立神楽の沿革も明らかではありませんが、舞の形から伊勢神楽系であり修験の伝えた神楽で起源は中世に遡るものと考えられます。

この神楽の記録が社記に出る最初は元和8年（1622年）で、その後毎年の例祭で舞い継がれ、時には隣集落檜橋玉の池神社で行われた雨乞祭で舞われ靈験を現わしたという記録が散見されます。

湯立神楽は次の九座で構成され、記紀の神話の内容を表わすとされているが極めて象徴的であり、足の踏み方に他に類のないユニークな点が見られる。

1. 翁舞
2. 露払い
3. 神招き
4. 弓舞
5. 剣舞
6. 恵比須舞
7. 道告げ
8. 三合舞
9. 鳥居舞

最後に告湯神事として、熱湯にひたした笠束を振りながら舞う巫女舞で終る。

この神楽は毎年の祈年祭（4月27日）に神社前に舞台を作り奉舞されます。

獅子踊について

民間伝承芸能の通例で記録が不足で、資料として残されているものが殆んどありません。従って起源や伝承の系譜等不明な点が多く、又社会情勢の変化に伴って中断と復活を何回も繰返しているのです。どれが原型でどのように経過したかも不明ですが、お互に交流は見られ、その土地に密着したそれぞれの特色は残されています。

飽海・酒田地区には唄や踊の形からみて同じ系統に属する獅子踊が7座ありその中3座が平田町にあります。これらを比較研究されている民俗学者、丹野 正先生は飽海系獅子踊と名づけています。

共通する構成や内容は次のとおりです。

中踊が特色ある飾をつけた綾笠をかぶり、太鼓を打って獅子5～6人の踊をリードしながら踊り、唄手の歌に合わせてそれぞれの曲目を群舞する。

曲目は順序や数に差がありますが共通するのは次のとおりです。

- 門引
- 入羽
- からまり
- 投草
- 雌獅子狂い
- 切り
- ノゲバチ

この踊は8月のお盆を中心に行われ神社に奉納されるとともに民家にも廻り、五穀豊穰と無病息災を祈る信仰的な要素が強い。

以下各獅子踊の特徴を誌します。

◆鹿島の獅子踊

- 口碑によると今から200年前江戸中期から始められたもので、獅子6人が太鼓を胸につけて打ちながら勇壮に踊ります。
- 粗朴だが動きがはげしく田楽の流れを汲んでいると思われる。



鹿島の獅子踊

◆坂本の獅子踊

- 口碑では鎌倉時代に西国から移住してきた祖先達が伝えたものだといえます。
- 踊の中に棒術の型が演じられます。これは坂本で生れ鶴岡で武家奉行をした若者が家に帰り炭焼を業としたが棒術の極意をきわめ長く伝えるため村役人の許可を得て加えたものだとされています。
- 記録としては文久3年（1863年）の帳簿があります。

◆桜林の獅子踊

- 口碑では200年前から踊られたと言われ大変手のこんだ綾笠を中踊がかむりますし、獅子は腕に鳴輪を付けるのが特徴です。
- 稲穂をかたどったと言われる華麗な腰飾をつけて踊り、その前方に弓と言う2本の竹としめ縄が張られます。
- 昔は少年達が舞ったのですが人口が少くなり現在は青年連中が踊っています。

◆ 檜橋の神代神楽

起源は明治20年で、酒田市新田目の神代神楽を伝承したものです。この年は干魃がひどく、コレラが流行した年であり、更に檜橋草創 700年に当たっていたので、玉池神社（薬師様）に神代神楽を奉納して神意を慰め悪疫退散と村内安全を祈願したものであります。

毎年9月7日と8日に玉池神社境内の舞台で演じられますが、昭和20年終戦の年に中断し27年に再興されましたが33年以降再び中断していたのを昭和50年に青年が中心になって復興した。昭和54年になり永続を期待して小中学校の生徒も練習に加え、現在は師匠4人、大人11人、小中学生16名の大一座となっています。

楽器や用具は次のとおりであります。

太鼓・笛・摺鉦・仮面13、衣装多数岩戸開の幕、龍のぬいぐるみ。

出演種目（○印は現在演じられるもの）

- ①巫女舞 ②三番叟 ③伊邪那岐命 ④伊邪那岐命後幕
- ⑤岩戸開 ⑥穀物神の幕 ⑦四終八専幕 ⑧四柱の舞
- ⑨八坂の舞（大蛇退治） ⑩堀の前幕 ⑪堀の後幕
- ⑫神武天皇 ⑬同後幕 ⑭坂上田村麻呂の幕
- ⑮八幡太郎義家の幕 ⑯大江山の幕 ⑰阿部の安那幕
- ⑱同後幕 ⑲安達ヶ原鬼姿幕 ⑳千代の御神楽
- ㉑道化 ㉒花笠舞



檜橋の神代神楽